



ひので映画大使最新版

第52回映画大使「柘榴坂(ざくろざか)の仇討」

期 日 平成26年9月20日(土) ※公開初日！

場 所 イオンシネマ日の出

【作品紹介】

作家の浅田次郎が2004年に発表した短編集「五郎治殿御始末」に収められている一編を、浅田原作の「壬生義士伝」で日本アカデミー賞最優秀主演男優賞を受賞した中井貴一の主演で映画化。

幕末の安政7年、主君・井伊直弼の御駕籠回り近習役として仕えていた彦根藩士の志村金吾は、桜田門外において目の前で井伊の殺害を許してしまう。切腹も許されず、仇討ちを命じられた金吾は、時が明治へと移り変わってもなお、井伊を殺害した刺客を探し続ける。やがて金吾は、井伊を討った水戸藩浪士の最後のひとりで、車引きの直吉と名を変えて生きていた佐橋十兵衛を見つけ出すが、その日、明治政府が仇討ち禁止令を発する。金吾が追い続けた水戸藩浪士・十兵衛を、阿部寛が演じた。

監督は「ホワイトアウト」「沈まぬ太陽」の若松節朗。



(C) 2014映画「柘榴坂の仇討」製作委員会

映画大使の「感動と感想」をお伝えします。

このコーナーは、映画を見た感想や感動を、ストーリーは伏せて「みなさん」に紹介するコーナーです。

▶ 映画大使の「第一声！」

☆ 結末はなんと〇〇〇〇。是非、作品を観て欲しいです。

☆ 素晴らしい「武士道」日本人の心

☆ 素晴らしいキャストの名演技！



今回参加された、映画大使の皆さんです！

▶ 映画大使の「映画のツボ！」

■Aさん

今回の作品は原作を読んでから映画大使に参加しました。広末涼子さんの様々な表情が素晴らしかったです。最後のあだ討ちのシーン(ネタバレしますので記載しません)が感動しました。主人公は主君が好きだったので、最後まで武士道が続けられたのだと思います。

■Bさん

歴史を本当に理解するのは難しいと思いますが、この映画を観て、どんな人でも家族があるんだなと思いました。家族というのが基本にあり家族を想っている。家族と命の尊さを強く感じました

■Cさん

涙を流しながら観ました。重い気持ちでずっと観ていて最後に、主人公の志村金吾(中井喜一)と佐橋十兵衛が最後の仇討ちシーンでの展開が素晴らしかったです。

■Dさん

中井喜一さんの武士らしい佇まいや低姿勢が素晴らしく思いました。明治に変わる時代の変動に、多くの人たちが振り回され、主人公と相手だけでなく多くの方が大変な思いをされていたんだろうと思います。

家族の支えがしみじみと感じられました。昔の女性は、か弱そうに見えますが、芯がしっかりしていて最後まで尽くそうとする気構えが反省させられました。(笑)

最後はどうかとドキドキして見ていましたけど・・・(これから見る人のために省略)感動しました。

武士の世界は上司の命令で人生まで翻弄される世界だとつくづく思いました。

■Eさん

江戸から明治時代に生き抜いた、武士とそれを支えた女性(妻)の生き方が感動しました。また、それを演じた役者さんの演技力に尽きると思います。

最後に二人が石榴坂に来た時、新しい何かが生まれたと思います。

時代の大きく変化する時に「武士道」を持ち続け、それぞれ違った人生を歩んだ最後に石榴坂にいたるまで「武士」であり続けたと思います。

秋元和衛(藤竜也役)の「ひたむきに生きる。決して死ぬな」の言葉が響きますね。

■Fさん

私は時代劇であっても、自分を取り巻く状況に当てはめてみてしまいます。淡々と冷静に物語が進んでいますが、変に誘導されないで考えることが出来ました。

中井喜一さん演じる主人公の志村金吾が生真面目・愚直というか、13年間も仇討ちのためだけに生きてきたのが、自分の若い時と通じるものがありました。

主人公は13年の経過の中で少しずつ相手の身になって考えることや、時代の流れに沿って生きることなど出来ないまっすぐな生き方から、いろいろなものが見えてきて考えの変化が起きてきたのだと思います。

この作品の監督の若松節朗さんは「沈まぬ太陽」を作られたのですが、この方も真面目な方なのではないかと思えます。

この作品は淡々と進んで来て、二人の仇討ちのシーンが長いのですが、淡々と進んだ分、引き込まれた感じがしました。

👉 作品の内容(印象に残ったシーンなど)

- ・ 久石譲さんの音楽が素晴らしかったです。
- ・ 武士道の厳しさを感じました。
- ・ 幕末の動乱の時期に、人の心や全てのものが変化していくのがわかります。

👉 まとめ

武士道は人の道。時代や姿形は変わっても武士道が残る、日本人の良さを観た気がします。

この作品の結末は映画大使の皆さんも予想もつかないものでした。その結末がこの作品の大きなポイントだと思いますので、大使の意見も記載されておりません。

是非、自分の目で確かめていただきたい作品です。

👉 関連ページ: [これまでのひので映画大使](#)

👉 関連ページ: [ひので映画大使のトップに戻る](#)

問い合わせ先: 教育委員会文化スポーツ課社会教育係

電話042-597-0511(内線541)

👈 [前のページへ戻る](#) | [ページトップへ](#) 📄